

問1 日本人の年中行事や人生儀礼について適切な説明となっているものを、次から2つ選びなさい。

- ア 初詣には多くの日本人が神社や仏閣に参拝に行くが、例年もっとも参拝者が多いのは東京の明治神宮である。
- イ お彼岸は春と秋の2回あるが、彼岸という言葉はもともと儒教の教えに由来するものである。
- ウ 初宮参りと呼ばれる儀礼は、生まれた子どもの満1歳になったことを祝って行うものである。
- エ 結婚式は21世紀になってからキリスト教式がもっとも多くなったが、それまでは明治時代からずっと神前結婚式が一般的であった。
- オ 葬式は圧倒的に仏教式が多いが、その大きな理由として江戸時代に檀家制度が確立したことがあげられる。

問2 神道と水との関わりについて適切な説明を、次から2つ選びなさい。

- ア 神社には手水舎と呼ばれる手や口をすすぐ場所があるが、これは神社に参拝したあとに行くところである。
- イ 神道の神は水を好むという信仰があり、神社の周辺には必ず川か池がある。
- ウ 神道では禊・祓が重視されるが、これは川や海で行われることもある。
- エ 正月の最初に汲みあげる水を「若水」といい、これを神などに供えたり雑煮に用いたりする慣習がある。
- オ 明治神宮の清正井はパワースポットとして有名になったが、この井戸の水を神聖視するのは平安時代からの習俗である。

問3 明治維新期に神仏判然令に基づく神仏分離が行われたが、これに関する適切な記述を、次から2つ選びなさい。

- ア 神仏分離とは仏教を日本から排除する運動で、廃仏毀釈ともいわれた。
- イ 神仏分離が行われた神社では、仏像の代わりに神像を安置することが積極的に進められた。
- ウ 神仏分離の結果、仏像や仏画などが日本から流出し海外の美術館などに収められている例がある。
- エ 神仏分離の結果、神社名や神社の祭りから仏教的色彩は全て除かれるようになった。
- オ 神仏分離による廃寺の影響で僧侶が葬儀に関与しなくなった地域で、それまでの仏教式の葬儀から神葬祭にかえるということもみられた。

問4 神社に関する一般的な説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 神社の中にはよく摂社や末社と呼ばれる小さな社があるが、参拝者の中にはそれを信仰の対象とする人もいる。
- イ 宗教法人法では、神社とみなされるには、鳥居、祭神をまつる本殿、そして礼拝のための拝殿を必ず設けなければならないと定められている。
- ウ 神社の祭神は日本の神々であり、いずれも『日本書紀』や『古事記』にその名前が登場する。
- エ 神社で祭祀を行う人は、神職とか神主と呼ばれることが多いが、その他にも禰宜、大夫といった呼び方をされる地方もある。
- オ 近代の神社制度では、伊勢神宮を頂点に、官国幣社、民社がそれぞれ本末関係を結んでいたが、1945年12月の神道指令により全て解消された。

問5 2013年には伊勢神宮の第62回式年遷宮が行われるが、式年遷宮についての説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 伊勢神宮の遷宮では内宮・外宮をはじめ別宮、摂社、末社などすべての社殿が順番に新しい様式で造られる。
- イ 式年遷宮は15世紀後半から百年ほど途絶したことがあったが、再興されて今日に至っている。
- ウ 遷宮で新造される社殿等の材料は、すべて伊勢神宮が所有する三重県内の木材が用いられる。
- エ 伊勢神宮の正殿の様式は唯一神明造と呼ばれ、島根県の出雲大社の様式、大阪府の住吉大社の様式とともに、古代の神社建築の様式を伝えているとされる。
- オ 式年遷宮が20年に一度行われる理由として、社殿が木造建築であるので、それ以上の年数になると千木や鯉木が折れてしまうというのが、最も適切な説とされている。

問6 日本の文学作品と宗教との関わりについての適切な記述を、次から2つ選びなさい。

- ア 吉田兼好の『徒然草』は、基本的には仏教思想に基づいたものであるが、部分的にはキリスト教思想の影響がみとれる。
- イ 『風土記』には、古代における一般民衆の仏教信仰のありさまが具体的に描かれている。
- ウ 『平家物語』のどくに冒頭の部分の文章には、明らかに仏教的な観念の影響がみとれる。
- エ 平安時代に書かれた『日本霊異記』には、仏教に関わる説話が数多く含まれている。
- オ 夏目漱石の『坊ちゃん』は、寺の家に生まれた青年が成長するにつれ体験する僧としての葛藤が描かれている。

問7 漁業に関わる日本の信仰や習俗の説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 漁師のもちいる漁船にはよく神霊がまつられるが、これは一般にふなだま(船霊・船玉)とよばれる。
- イ 大きな川の流れる地域では、ワタツミノカミという川の神をまつる民間の行事が今でも数多くある。
- ウ 古代から漁業の従事者や船舶の航海者にとり、海上からもよく見えるきれいな姿の山は、死者の霊が赴く所と考え、付近を航行の際は警戒した。
- エ エビス神は商売繁盛の信仰対象として知られるが、地域によっては海で発見された死者をエビスとして大切にする慣習があった。
- オ 最初に釣り上げた魚は神に捧げるものという神道の教えの影響で、神社には必ず最初にとれた魚を供える。

問8 通夜の式の後の食事に刺身が出ていることから、日本仏教と食について次のようないろいろな意見が飛び交った。このうち適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 「亡くなって49日後を『甲い上げ』というから、正式には、喪家の人はそれまで動物性の食品を食べることができないことになっているよね。」
- イ 「精進料理には肉に似せて作ったがんもどきのような食材があるが、これはもともと高野山の宿坊で宿泊客に安い値段で食べてもらうために考え出されたものだということだ。」
- ウ 「会社の研修で曹洞宗の総持寺に行ったが、食事も仏教の修行であるというので、食べ方や食器の扱いに細かい決まり事があって、お坊さんから指導を受けたよ。」
- エ 「お茶を飲む習慣も栄西という臨済宗のお坊さんによってもたらされたのだと聞いたな。」
- オ 「このインゲン豆は禅僧である隠元さんに由来しているそうだ。隠元は鎌倉時代に中国からやってきたお坊さんらしい。」

問9 日本仏教の僧侶のあり方は、アジアの他の国々の僧侶のあり方と比べて特徴的なことがいくつかある。これに関して適切な記述を、次から2つ選びなさい。

- ア 日本の僧侶が結婚することはごく普通であるが、他の国ではほとんど例がなく、とくに上座仏教の国では戒律に反するので考えられないことである。
- イ 日本には女性の僧、つまり尼僧がいるが、これは東アジアにおいてもきわめて例外的である。
- ウ 日本では僧侶は日常生活においては、普通の人と同じような服装をする人が多いが、他の国では僧は日常生活でも僧衣を着ている。
- エ 日本は山岳信仰の影響で山に寺院があるのは珍しくないが、これは他の国では見られないことである。
- オ 日本の僧侶は一般に肉食を避けないが、上座仏教では肉食は戒律に反するとされ、僧はお布施にもらっても、肉は食べない。

問10 日本仏教の宗派や寺院についての記述として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 平安時代にできた天台宗の本山である延暦寺は、京都を守護する目的で比叡山に建てられたので、宗派寺院の大部分は関西に集中している。
- イ 鎌倉時代にできた臨済宗、曹洞宗の本山はどちらも鎌倉市にある。
- ウ 浄土真宗は鎌倉時代にできた宗派だが、その寺院の大多数は応仁の乱以降に建立されている。
- エ 四国八十八ヶ所巡礼は、弘法大師空海ゆかりの地をめぐるものであるが、現在、そのすべてが真言宗の寺院となっているわけではない。
- オ 幕末期、中国地方に多くの寺院、信者を有していた浄土宗は、長州藩とのつながりから明治政府への影響力を持つことになった。

問11 日本語の中には禅宗の教えから来たものが数多くある。これに関する説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 「敬神崇祖」は神を敬い、先祖を敬えばいつかは悟れるという禅の教えに由来する。
- イ 「不老不死」は悟りを得ると、老いることなく、死ぬこともないという禅の教えに由来する。
- ウ 「他力本願」は、「南無阿弥陀仏」とひたすら唱えることで悟れるという禅の教えに由来する。
- エ 「以心伝心」は、悟りへの道を、言葉によらず、心から心へと直接伝えるという禅の教えに由来する。
- オ 「不立文字」は、言葉を介さずに真の悟りを得ようとする禅の教えに由来する。

問12 仏教の葬式に参加することになったキリスト教国の外国人に対する事前の説明として、適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 「お坊さんはきっと袈裟と呼ばれる衣を身に着けていると思います。これはもともとインドで考えられたお坊さん用の質素な衣でしたが、日本にはかなり華美なものがあります。」
- イ 「参列者の中には数珠をもっている人が多いと思いますが、本来これは単なる装飾品などではなく、儀礼の中で念仏などの回数を数えるための道具です。」
- ウ 「お坊さんは「南無妙法蓮華経」と唱えると思いますが、これはお坊さんが仏と一体化して特別な力(法力)を使うことができるようになるためとされています。」
- エ 「立派なお坊さんにありがたいお経を読んでもらうことで、参列者の方々は「これで故人は天国に行ける」と信じているのです。」
- オ 「儀礼の後に僧侶にお布施と呼ばれるお金が渡されますが、各仏教宗派では、これを一定の時間をかけて宗教的なサービスを行ったことに対する対価として理解するのが一般的です。」

問13 仏教には、教えを数によって整理し解説する「法数」というものがある。法数による用語の説明として正しいものを、次から2つ選びなさい。

- ア 「三宝」とは、仏教において帰依の対象となる3つの宝を意味し、具体的には仏・法・僧のことである。
- イ 「四聖諦」とは、苦の状態から悟りに至る道筋を示した仏教の根本的な教えの1つであり、苦諦・集諦・戒諦・道諦の4つの真理を意味する。
- ウ 「四苦」とは、人間だれもが向かい合わなくてはならない災老病死の四つの苦を意味する。つまり、災いにあうこと、老いること、病になること、死である。
- エ 「五戒」とは、仏教においておもに在家信者が守るべき5つの戒であり、具体的には、「不殺生戒」・「不偷盗戒」・「不邪淫戒」・「不妄語戒」・「不飲酒戒」からなる。
- オ 「六道」とは、地獄界など6つの世界のことであるが、人間界はここには含まれない。

問14 日本仏教と美術の関わりについて適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 興福寺の阿修羅像は仏教を守る八部衆のひとつを表したものであり、鎌倉仏教を代表する仏像である。
- イ 本尊の左右に荘厳な胎蔵界曼荼羅と金剛界曼荼羅をかけるのは浄土系寺院の特徴である。
- ウ 日本の仏像は如来、菩薩、明王、天部などに大別されるが、すでに悟りを得た仏である如来の像は、他の像に比べてはるかに多様な装飾品や持ち物があるのが特徴的である。
- エ 寺院建築で見られる真ん中が太くなった円柱や唐草模様の装飾は、インド、中国を經由してギリシャからもたらされたものである。
- オ 「十牛図」は、修行者を牧人、悟りを牛になぞらえて、10の図が描かれたものであるが、仏道修行の過程を表わしたものである。

問15 アジア諸国には仏教関連の世界遺産が数多くある。仏教好きの友人を世界遺産めぐりのツアーに誘うときの話の内容として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 「インドネシアのジャバにあるボロブドゥール遺跡は貴重な仏教遺跡だから見にいこう。」
- イ 「ネパールのルンビニ遺跡は、仏教の聖地だし、ぜひ行きましょう。」
- ウ 「パキスタンにあるロータス・フォート(ロータス城塞)は、ガンダーラ美術が好きなあなたにはぴったりのところですよ。」
- エ 「中国の北京には天壇と呼ばれる立派な建物がある。中には大きな仏像があるらしいからぜひ行こう。」
- オ 「韓国のソウルには宗廟がある。ここには大きな阿弥陀仏がまつられているらしい。見てみたいね。」

問16 アジアに広まった仏教は大きく上座仏教と大乘仏教に分けられる。アジアの国々の仏教についての説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア モンゴルは黄色の僧衣を身につけた僧侶が多く、上座仏教が最も広まっている。
- イ インドに近いスリランカは、今日に至るまで大乘仏教の影響が強い地域である。
- ウ ベトナムは東南アジア大陸部に位置しているが、上座仏教ではなく中国から伝わった大乘仏教の方が広がっている。
- エ 韓国の伝統仏教は中国仏教の影響を受けており、大乘仏教の流れに属する。
- オ チベットの仏教は出家者である僧侶に対してとても敬意を払っており、この点から上座仏教であることがわかる。

問17 現代日本の宗教人口に関わる説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 文化庁編『宗教年鑑』に掲載された数値によれば、神道系と仏教系の信者数を合計すると現在の日本の総人口を大きく超えている。
- イ 現代の日本人で特定の宗教を信仰している人の割合は、アメリカ合衆国の場合と比べて極めて高い。
- ウ 日本におけるイスラム教の信者数は急速に増加しており、2012年にはキリスト教の信者数を上回った。
- エ キリスト教系の宗教団体の信者数はここ10年ほどあまり大きな変化はなく、だいたい人口の1割程度である。
- オ 21世紀になってからの新聞社が行う世論調査の結果から判断しても、「宗教を信仰していない」と答える人の割合は、「宗教を信仰している」と答える人の割合よりずっと多い。

問18 近代日本には数多くの新しい宗教教団が形成されたが、これに関して適切な説明を、次から2つ選びなさい。

- ア 天理教は、江戸時代末期に女性の教祖によって今の奈良県で創始された。
- イ 創価学会は、明治期に組織化された教派神道の一つで、宗教による国家の安定を強く主張する。
- ウ 金光教は、浄土真宗の僧侶によって岡山県で創始された仏教系教団の一つである。
- エ 立正佼成会は、昭和期に東京で創始された仏教系の教団で、とくに法華経を重視している。
- オ 大本教は、江戸時代の後期に女性の教祖によって京都で創始された。

問19 近現代の日本社会と宗教教団の関わりについての適切な説明を、次から2つ選びなさい。

- ア 日本の私立大学の創設者は宗教関係者が多い。たとえば、同志社大学の創設者はキリスト教徒の内村鑑三である。
- イ 近代に形成された新しい宗教教団は、大教団となっても宗教活動のみを行っており、学校や病院などの経営に関わった例はない。
- ウ 日本の宗教系学校の中では、キリスト教系学校の占める割合がもっとも多い。
- エ 日本の宗教教団が高等教育機関の設立をはじめたのは、第二次世界大戦後のことである。
- オ 戦後は宗教教団が政党を結成したり政治活動に参入したりする例が増えたが、21世紀にはいって政党を結成した例として、幸福の科学による幸福実現党がある。

問20 国外で19世紀以降設立された比較的新しい教団が、日本でも活動する例がある。これについて適切に述べているものを、次から2つ選びなさい。

- ア サイエントロジーは日本では戦後に信者が増えているが、もともと19世紀にドイツで設立された教団である。
- イ モルモン教と言われているのは、正式名称が末日聖徒イエス・キリスト教会である。これは19世紀にアメリカ合衆国で設立された教団である。
- ウ エホバの証人はものみの塔とも呼ばれるが、イスラエルで19世紀に設立された教団である。
- エ 一般に統一教会と呼ばれているのは、イタリアで20世紀に設立された教団である。
- オ 救世軍というのは、日本でも街頭での募金活動などで知られているが、イギリスで19世紀に設立された教団である。

問21 2013年4月、国際記念物遺跡会議（イコモス）は富士山が世界遺産にふさわしいものとする勧告をおこなった。富士山と日本の宗教文化についての説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 富士山は、霊峰として知られるが、信仰を集めるようになったのは江戸時代の登山ブームからである。
- イ 富士山への信仰が人々に広まるなか、登拝を行う富士講も生まれた。明治期以降、富士講を母体にした教派神道が形成された。
- ウ 富士山が信仰の対象となったのは江戸期が中心で、近代以降はもっぱらレジャーの対象となった。
- エ 修験道では富士山が修行の場とされていたが、明治期の神仏分離を機に、八合目以上は真言宗の寺院の所有となっている。
- オ 何度も噴火を繰り返してきた富士山を鎮めるため、山を「浅間大神」と名付け、まつることになったといういわれがある。

問22 中国に数年駐在することになった知り合いから、宗教に関わることで注意した方がいいことをアドバイスしてくれと頼まれた。適切なものを次から2つ選びなさい。

- ア 「社会主義になってから儒教は古い思想と思われているから、『論語』など知らないふりがいいと思う。」
- イ 「中国にイスラム教徒はいないから、食事に招待するときに戒律のことを気にする必要はまったくないです。」
- ウ 「仏教寺院はすっかり観光化していて、だれも仏教の教えには関心がないから、仏教の話はしない方がいい。」
- エ 「特に数人が集まっているような場所では、ダライ・ラマについての話題は出さない方がいいと思う。」
- オ 「カトリック教会はけっこうあるけど、政府が認めていない教会もあるから、この点は気を付けたほうがいい。」

問23 儒教の教えとして日本でもよく知られているものを、次から2つ選びなさい。

- ア 「過ぎたるはなお及ばざるがごとし。」
- イ 「天に従う者は存じ、天に逆らう者は亡ぶ。」
- ウ 「だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい。」
- エ 「色即是空、空即是色。」
- オ 「金持ちが神の国に入るよりも、ラクダが針の穴を通る方が易しい。」

問24 陰陽五行説は中国で形成され、古代から東アジアに広く影響を及ぼした考えであるが、これに関する適切な説明を、次から2つ選びなさい。

- ア 陰陽説では、陰と陽は互いの対立のみが強調されるのではなく、むしろ互いに補完し、循環するということが重視される。季節の移り変わりもこれで説明される。
- イ 陰陽説では、男性は陽で女性は陰、剛は陽で柔は陰、天は陽で地は陰といった対応をさせる。
- ウ 五行説では万物は「木」・「火」・「土」・「金」・「水」の5つの要素からなると考えるが、この中で「木」がもっともすぐれた要素であるとしている。
- エ 五行説は、すべての事象は「赤」・「青」・「黄」・「黒」・「白」の5つの色の原理によって説明できる、とする考えである。
- オ 五行説は暦にも利用されたが、十二支との関係がややこしく、一般にはまったく普及しなかった。

問25 中国仏教史に登場する有名な人物についての記述として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 鑑真は7世紀の中国の僧であるが、当時インドから伝わった密教を日本に伝えた最初の僧である。
- イ 海路インドにわたって中国に禅を持ち帰ったのは、達磨太子である。
- ウ シルクロードの中継地であった西域は多くの学僧を輩出したが、鳩摩羅什もその一人である。
- エ 日本に最新の仏法を広めようと、鎌倉時代に日本にやって来て禅を伝えたのが道元である。
- オ 孫悟空が活躍する『西遊記』で、三蔵法師のモデルになったのは、7世紀にインドにおもむいた玄奘三蔵である。

問26 仏教とほぼ同じ頃に興ったジャイナ教という宗教がある。この宗教についての適切な説明を、次から2つ選びなさい。

- ア 他人に迷惑をかけることを嫌い、信者たちも自給自足の生活を送ることが多い。
- イ 不殺生の戒律を守るため、信者たちは職業として農業を選ぶ人が多い。
- ウ 不殺生は重要な戒律であるので、ジャイナ教の僧侶は虫さえも殺すことがないように注意を払う。
- エ 無所有ということも大事な戒律であるが、これを徹底しようと衣さえ身につけない僧がいる派があった。
- オ インドで生まれた宗教であるが、スリランカを経て東南アジアにも伝わり、現在はタイなどに百万人を超す信者がいる。

問27 ヒンドゥー教の神について適切な説明を、次から2つ選びなさい。

- ア インドでは多くの神々が信仰されているが、なかでもヴィシュヌ神とシヴァ神が多くの信奉者を集めている。
- イ 一般にヒンドゥー教では、神像の作成や神々の絵を描くことは禁じられている。
- ウ ヒンドゥー教の神々は、仏教徒が信じている仏や菩薩を敵視すると考えられている。
- エ ヒンドゥー教の有名な神々として、ゼウス神やポセイドン神などがあげられる。
- オ 日本で帝釈天として知られている神は、もともとヒンドゥー教の神で、インドラ神にあたるとされる。

問28 インドで設立されたシク教（シーク教）についての適切な説明を、次から2つ選びなさい。

- ア シク教は近代インドで仏教を改革しようとする運動から生まれた。
- イ 2004年にインドの首相になったマンモハン・シン首相は、その名前から推察されるようにシク教徒である。
- ウ シク教徒はもともとインドのパンジャブ地方に多くいた。
- エ 第二次大戦後は、シク教徒はインドよりもタイやベトナムなど東南アジアの仏教国に数多くいる。
- オ シク教徒は徹底した非暴力主義であり、「殺されても殺すな」という教えを守る。

問29 キリスト教系の大学に入学したばかりの学生たちが、それまでに得たキリスト教についての知識を披露しあっている。適切な知識と言えるものを、次から2つ選びなさい。

- ア 「キリスト教には食べ物のタブーはないというけど、厳格なカトリックの中にはキリストが十字架につけられた金曜日には肉食を避ける信徒もいるから、配慮した方がいいよ。」
- イ 「修道院では、生活のためにぶどうを栽培してワインを作っているけど、厳格な戒律を守っているから、修道士たちが飲酒をすることは禁止されているらしい。」
- ウ 「キリスト教系の大学は、この大学以外にもたくさんあるよね。関西学院大学、上智大学、立教大学なんかもキリスト教系の大学だよ。」
- エ 「イエスの誕生の場面を表現した像がたくさんあるけど、あれはイタリア語でピエタと言うらしい。」
- オ 「日本ではクリスマス・パーティが盛んだけど、クリスマスにパーティを開くのは、キリスト教がローマ帝国の国教になったときからの習慣らしい。」

問30 幕末から明治期にかけてのキリスト教に関する説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 長崎は鎖国の間、プロテスタントの国オランダと交易していた関係で、幕末の開国後、長崎に作られた教会や修道院は、カトリックのものよりもオランダから来たプロテスタントのものがはるかに多い。
- イ 「青年よ、大志を抱け」という言葉で知られるクラークのように、明治期、お雇い外国人教師として多くの神父やシスターが大学で英語を教えていた。
- ウ 明治初期に岩倉具視たちが欧米を視察した時は、すでに欧米諸国との通商が始まっていたが、キリスト教徒たちの迫害は明治維新以後も一部で残っており、殉教者が出た例がある。
- エ ニコライはロシア正教を広めようと、幕末から明治にかけて日本で布教活動を行ったが、カトリックやプロテスタントに比べるとごく少数の信者しか得られなかった。
- オ 開国後、プロテスタントでは宣教師たちは主にアメリカから来日したが、カトリックはイエズス会などスペインからの修道会が圧倒的に多く来日した。

**問3 1 プロテスタントに関する記述として適切なものを、次から2つ選びなさい。**

- ア 日本で明治期にプロテスタントの信者となった人の中には、新渡戸稲造や新島襄のように、武士の家に生まれた人たちもいる。
- イ プロテスタントの教会は、その歴史のなかで多くの教派に分かれたので、世界のプロテスタント全体を統括するような立場の人物はいない。
- ウ 長崎には、16世紀に日本で殉教したプロテスタントの信者を称える「26 聖人殉教者像」がある。
- エ カトリックでは神父は男性であり、結婚できない。これに対し、プロテスタントでは男女とも牧師になれるが、やはり結婚はできない。
- オ プロテスタント教会でも聖人崇拝があるが、それは宗教改革以後に認められた聖人に限られる。

**問3 2 世界各地のキリスト教に関する記述のうち適切なものを、次から2つ選びなさい。**

- ア アイルランドは、隣国イギリスがプロテスタントになった時の影響を受け、今は住民のほとんどがプロテスタントである。
- イ ドイツは宗教改革者のルターを生んだ地であり、プロテスタントの信仰をもつ人が3割以上を占めるが、カトリックの信者もそれに近い程度の割合である。
- ウ アジアの中ではフィリピンはキリスト教徒が多い国と言えるが、アメリカ統治下時代の影響で、国民の大半がプロテスタントである。
- エ 韓国は日本に比べるとキリスト教徒の割合はきわめて高く、人口の2～3割ほどを占めるとされる。
- オ 中東はイスラム圏であるので、キリスト教徒はどの国にも存在しない。

**問3 3 現代世界のキリスト教に関する会話のうち、内容が適切なものを、次から2つ選びなさい。**

- ア 「新しいローマ教皇のフランシスコという名前は、教皇がもともと属していた修道会の創立者に由来してつけられたんだそうだね。」
- イ 「仏教に宗派があるように、カトリック教会にもドミニコ会、トラピスト会などの宗派があり、教義は別々だと考えている人がいるけれど、それは間違いだね。」
- ウ 「ロンドンにあるウェストミンスター大聖堂は、イギリス国教会に属する教会でイギリス王室とも関係が深いから、ローマ教皇はイギリス訪問の際には敬意を称してミサを捧げに行っているんだって。」
- エ 「南米にはカトリック信者がたくさんいるので、今年、新しく決まったローマ教皇のように、南米出身の教皇は何人もいるそうだよ。」
- オ 「カトリック教会が諸宗教との対話を進め、世界宗教者会議をはじめ、世界各地で諸宗教の聖職者と交流・協力を始めるようになったきっかけは、半世紀ほど前に開かれた第2バチカン公会議だと聞いた。」

**問3 4 東方正教会（オーソドクス）に関する記述のうち適切なものを、次から2つ選びなさい。**

- ア 東方正教会では、イコンと呼ばれる聖画像の崇拝が特徴的で、イコンには、イエス・キリスト、聖母マリア、聖人などが描かれる。
- イ ほとんどの東方正教会では、プロテスタント教会と同様に、カトリックと分かれた時から、聖母マリアを崇敬の対象としていない。
- ウ ポーランドやルーマニアは東欧の国であるので、いずれも東方正教会の信者がもつとも多い。
- エ ロシアはソ連邦時代の宗教弾圧の影響で、現在はロシア正教の信者はほんのわずかしかない。
- オ 東方正教会は、ユリウス暦を用いているので、復活祭などの日付けが、カトリック教会とは異なってくる。

**問3 5 ユダヤ教の教典（聖典・経典）には、非常に細かな食の戒律が記されている。戒律をきちんと守っているユダヤ教徒を食事に連れて行くときの注意として適切なものを、次から2つ選びなさい。**

- ア 豆類は食べないので、豆腐料理の専門店には誘わない。
- イ うろこのない魚は食べないので、ウナギのかば焼きが有名な店には誘わない。
- ウ 反芻しない動物は食べないので、カツ丼屋には誘わない。
- エ 鳥は食べないので、フライドチキンの店に誘わない。
- オ 生の野菜は食べないので、サラダ料理が専門の店には誘わない。

問36 ユダヤ教とキリスト教やイスラム教（イスラーム）との関係について適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア イエス・キリストはユダヤ人から排斥されたので、現代のキリスト教徒はユダヤ教で教典とされているものを、自分たちの聖書とは関係ないものとしている。
- イ イスラム教が興ったことで、一時期アラビア半島からはユダヤ教徒がいなくなった。
- ウ キリスト教の新約聖書はユダヤ教にとっても教典である。
- エ ユダヤ教の教典には「トーラー」と呼ばれる部分があるが、これはキリスト教の旧約聖書に含まれている。
- オ イスラム教の創始者のムハンマドは、ユダヤ人たちともつきあっており、ユダヤ教の教典についての知識があったと考えられる。

問37 イスラム教の第一の聖地はメッカ（マッカ）であるが、これに関する記述として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 聖地メッカはサウジアラビアにあり、多くのイスラム教徒（ムスリム）が巡礼に訪れる。
- イ 預言者ムハンマドに関する伝承から判断すると、ムハンマドはその生涯において一度も聖地メッカから離れたことはないことがわかる。
- ウ 聖地メッカの聖域にはイスラム教徒以外は入ることが許されない。
- エ イスラム教徒といえども、聖地メッカで写真を撮ることは禁止されている。
- オ メッカは、イスラム教徒から「啓典の民」とみなされているユダヤ教徒にとっても聖地である。

問38 イスラム教徒の友人といろんな料理を出してくれる店に食事に行った。厳格に食の戒律を守るような人でなくても、その際に避けた方がいいことがある。それを次から2つ選びなさい。

- ア 「この店のカツカレーはとてもおいしいから、食べてみませんか」と誘う。
- イ 「以前この店に来たとき食べたチキンのから揚げがおいしかったから、あなたも食べてみませんか」と誘う。
- ウ 「ここはお寿司もけっこうおいしいから、食べてみませんか」と誘う。
- エ 「この店はいろんなワインがそろっているから、あなたも飲んでみませんか」と誘う。
- オ 「私はこの店の湯豆腐が大好きですが、あなたも食べてみませんか」と誘う。

問39 イスラム教徒が断食を行う月であるラマダーン月についての説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 「ラマダーン」とは「断食」という意味のアラビア語である。
- イ ラマダーン月の断食では、日の出から日没まで、水以外は何も口にしないことになっている。
- ウ ラマダーン月は第9月であるので、日本でいえば毎年秋にあたる時期になる。
- エ ラマダーン月の断食は、イスラム教徒なら全員やらなくてはならないというのではなく、妊娠している女性、子供や老人などは免除されている。
- オ ラマダーン月は、預言者ムハンマドに最初の啓示がおきた月とされている。

問40 イスラム教のシーア派についての記述として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア シーア派はイランで多数派を占める宗派であり、イランでは国教である。
- イ シーア派が用いているコーランは、スンナ派が用いているコーランとは内容が大きく異なる。
- ウ シーア派ではムハンマドを最後の預言者としており、ムハンマドの後にも預言者が複数あらわれたとするスンナ派とは異なった考えをもつ。
- エ シーア派がいつ形成されたかについては諸説あるが、もっとも有力な説は、19世紀から20世紀にかけて形成されたという説である。
- オ シーア派には複数の分派があり、最大の分派は十二イマーム派である。



問4 1 異教徒に対するイスラム教の姿勢を説明するものとして、適切なものを2つ選びなさい。

- ア イスラム教徒以外の人間が、『コーラン』に触れることは許されない。
- イ イスラム教徒の女性は、異教徒と結婚することが許されない。
- ウ イスラムでは、ユダヤ教徒とキリスト教徒をイスラム教徒と同じ「啓典の民」と考える。
- エ イスラム教徒は異教徒と食事をした場合、あとで身体を水で清めなければならない。
- オ イスラム教徒が異教徒のいる場所で礼拝をすることは許されない。

問4 2 ある旅行会社が外国からの団体ツアーを受け入れることになった。すぐにもハラルについての基礎知識を学んだ方がいいと考えられるのはどの場合か、次から2つ選びなさい。

- ア 中南米担当で、メキシコ、ブラジル、チリなどからの団体客を受け入れることになった場合。
- イ 東南アジア担当で、インドネシア、ベトナム、マレーシアなどからの団体客を受け入れることになった場合。
- ウ 西ヨーロッパ担当で、イタリア、スペイン、フランスなどからの団体客を受け入れることになった場合。
- エ アフリカ担当で、エジプト、ケニア、モロッコなどからの団体客を受け入れることになった場合。
- ホ 東アジア担当で、中国、韓国、台湾などからの団体客を受け入れることになった場合。

問4 3 神話には英雄神話と呼ばれるものがあるが、これについて神話好きの学生たちが会話をしている。適切な内容になっているものを、次から2つ選びなさい。

- ア 「英雄といえば、ギリシャのホメロスが『イリアス』で描いたトロイア戦争の英雄アキレウスをあげたいね。」
- イ 「ギリシャ神話であげるなら、『リグ・ヴェーダ』に出てくるインドラも、怪物退治をして人々を救う英雄だよ。」
- ウ 「日本の『古事記』に登場するスサノオもヤマタノオロチを退治しているし、強いよ。」
- エ 「怪物退治なら『ギルガメシュ叙事詩』の主人公ギルガメシュがすごい。彼はケルト人の英雄だね。」
- オ 「新約聖書の「士師記」にはサムソンという英雄が出てくる。彼だって怪力では負けない。」

問4 4 神話を題材にした美術作品の展示を企画したいと考えた。企画会議で出た次の発言から、適切なものを2つ選びなさい。

- ア 「日本では、近代になると神話は神聖なものとして絵にすることを禁止されました。そのため近代には日本神話を題材にした絵画の作品はありません。日本神話では企画はできませんね。」
- イ 「古代エジプトにも、イスラム教が広まっていたので、神々はまったく描かれませんでした。エジプト神話の企画も無理です。」
- ウ 「ボッティッチェリの『ヴィーナスの誕生』のようにルネッサンス期には神話を題材にした絵が描かれました。神話とルネッサンスの特集はどうでしょうか。」
- エ 「中国神話の展示はどうでしょう。『山海経』を題材にした如来や菩薩の絵や像がたくさん残されています。」
- オ 「平安時代からは日本でも神をかたどった像が造られるようになりました。日本神話の神々の像を集めた展示を企画したいです。」

問4 5 宗教の教典（聖典、経典）、ないしそれに類する書についての適切な記述を、次から2つ選びなさい。

- ア 『法華経』はブツダの生涯を細かに記した経典で、ブツダの伝記はこれに基づいている。
- イ 「ヨハネの黙示録」は新約聖書の最後におかれているが、これはイエス・キリストの言行を記したものではない。
- ウ 「モーセ五書」と呼ばれる書は旧約聖書に含まれるが、その最初にあるのは天地創造の話などが記載されている「創世記」である。
- エ コーランは、ムハンマドが神から受けた啓示を記しているが、ここには旧約聖書や新約聖書などに類似する話は一切なく、きわめて独自な内容となっている。
- オ 『古事記』の神代巻には神武天皇が神から受けた諭しをもとにまとめた話が記されている。

問46 現代の日本や世界の葬法に関わる説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 自然葬はもっとも古くからの葬法で、家の床下などに葬るやり方である。
- イ 樹木葬というのは、近代中国で盛んになったもので、遺体を葬った場所に樹木を植えて目印とするものである。
- ウ 鳥葬と呼ばれる葬法があるが、これはアフリカ北部に多く見られる。
- エ 日本では江戸時代は土葬が多かったが、明治以降火葬が急速に普及した。
- オ イスラム教では中東地域に限らず基本的に土葬である。

問47 20世紀後半に「宗教多元主義」という立場が知られるようになったが、その説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア いろいろな宗教はそれぞれが真理を主張している以上全く相いれず、どこまでも対立しながら存続していくしかないという立場。
- イ 自分の信じる宗教とは違った宗教の中にも部分的な真理を認めるが、最終的には自分の宗教に包括されるとする立場。
- ウ ささまざまな宗教は究極的な真理が違った姿で表現されたものであり、それらは同様の価値をもつとする立場。
- エ 自分の宗教のみが究極的な真理を表しているものであり、他の宗教は全くの虚偽や誤解であるとする立場。
- オ どの宗教であっても、それが究極的な真理そのものであるという特権的な地位を主張することはできないとする立場。

問48 儀礼の種類に関する説明のうち適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 「予祝儀礼」とは、豊作などの良い結果が得られることを願って事前に行われる儀礼のことである。
- イ 「通過儀礼」とは、過ぎ去ってしまった過去の出来事を記念するために行われる儀礼のことである。
- ウ 「浄化儀礼」とは、浄められた食べ物や水を摂取することで身体内のエネルギーを高めようとする儀礼のことである。
- エ 「消極的儀礼」とは、一定の行動を差し控えることを通して望ましい結果を得ようとする儀礼のことである。
- オ 「積極的儀礼」とは、自分たちでそれまででない新たな儀礼を考え出し、それを行うことで、好ましい結果を得ようとする行為のことである。

問49 大学で宗教学を学んでいる後輩が、図書館で宗教学の基本的な本を読んでいるのを見かけて声をかけた。その内容が適切であったものを、次から2つ選びなさい。

- ア E. B. タイラーの『原始文化』を読んでいたので、「アニミズムという考えがどういふものかに関心がある人には面白いと思うよ」と声をかけた。
- イ J. G. フレーザーの『金枝篇』を読んでいたので、「近代の宗教制度を知るにはとても役に立つよね」と声をかけた。
- ウ R. ベラーの『徳川時代の宗教』を読んでいたので、「宗教と近代化の問題を考えると参考になる本だね」と声をかけた。
- エ E. デュルケームの『宗教生活の原初形態』を読んでいたので、「創唱宗教の教典成立過程を調べるのに役に立つね」と声をかけた。
- オ R. オットーの『聖なるもの』を読んでいたので、「無神論を正面から扱っているので参考になる本だね」と声をかけた。

問50 宗教を学問的立場から調査することについての適切な考え方を、次から2つ選びなさい。

- ア 研究の客観性を守るため、研究対象とする宗教の信者や指導者と接触すべきではないと考えられている。
- イ 研究の範囲を限定するため、日本で宗教法人として認められている宗教団体のみを研究することになっている。
- ウ 研究の実証性を担保するため、かならず統計などの量的なデータを用いて研究をしなければならないことになっている。
- エ 著名な宗教者だけでなく一般の信者への聞き取りも、重要な資料になりうるとされている。
- オ 回心に関する体験談は、脚色されているから資料価値がないとするのは、一面的な見方だと考えられている。